

伯國移植民
發展策 (十一)

尤も、勸業部員等に云はすれば、昨今大不況の場合事の成行から打算して、企業移民だの、植民だと區別して送り込むか、あるいは苦痛を重ね、衣食に窮する民は一律に移民で送り込み、これらは無論の事である。

しかし、昨年大不況の際に、多數農民は惡くして、商品に苦痛を感し、勤業部は幾分にても之を軽くして然らば、吾人は勤業部に依つて身代かりを爲したる者に反問する。我が同胞は一昨年、不況以來、謂ゆる惡商人の不況に罹り、商品を販賣するが爲めに、品質粗悪にして價格不高廉なる品物を買はされ、これに果して然らば、吾人は勤業部に依つて身代かりを爲したる者に反問する。我が同胞は一昨年、不況以来、謂ゆる惡商人の不況に罹り、商品を販賣するが爲めに、品質粗悪にして價格不高廉なる品物を買はされ、これに

河豚は食たし命は欲し

對議會・對選舉に
鳩首し祕策を練る

問々たる民政黨

解散の機會を窺ふ

政友會内閣

政府は十七日開議を開き、各方面に考慮を要すとの意見も黨議に橋樑相等の施政演説内容に就き、新役員決定後直に院内外總務會に出席して是等に就ては來る二十日黨又、議會解散の時期に關し、鳩首

十八日ラヂオを通じての情報に開き最後の方針を決定する等のうちには、政界の雲行き眺めてゐるが、現下の政情鑑みて、安達謙藏に逃げられ、對議會の不穩當なる態度に就ては休會の方針が定まらぬ様子である。

聖州民に告ぐ!!

呼び掛けた共和黨
一般的に大好評

恤兵品 五、八七五組
恤兵金 一、七九九、七六二圓
恤兵袋 三〇錢

恤兵品 一二二〇組
恤兵金 三八四、〇八八圓
恤兵袋 二八八、四〇九個

恤兵品 一二二〇組
恤兵金 三八四、〇八八圓
恤兵袋 二八八、四〇九個

恤兵品 一二二〇組
恤兵金 三八四、〇八八圓
恤兵袋 二八八、四〇九個

動部隊に直送されたものは、
天皇陛下に拜謁せつけられ
賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日午後二時

天皇陛下に拜謁せつけられ

賜はり具に上申

荒木陸相は去る十八日

新詩 TOMO AO ANOITECER
(セミダスクルーセのナルシングにて詠める)

哲郎

あらゆる藝術の士は人の世
を長閑かにし、人の心を豊
かにするが故に尊い—草枕

最も簡明に文藝の真値をこう漱石は說
ばれど勝ちた同胞社會に於て兎も犬も
名づけられる可きものが出来れば
ならない否生み出さればならぬ

最近文藝欄開放の聲が高りつ
あるのは邦人社會一般要求

この方向に動きを見せたもの
であります。本紙はこう

した一般要求に對する爲に文
藝欄を開放し文藝爱好者の活
動舞臺に提供することにしよ
した

同好の士よ！奮つてこの欄内
に参加せられんことを希望しま
す(但し探否は文藝部一任の事)

英男は「今日は別に苦しい様な事もなかつた
かね……具合はどうだね」

英男は「エンシヤー、娘に置いて妻の
臥す前に心配氣な面持つたうすれた
まあ貴方カガルサが随分切れてゐるわね
ほんとうに済みません何日までも病氣
許りして……」

貴女枝は「云つて切れ下つた布を衰弱
り」と

さの花咲き満開の南亞米利加の森を通りて今宵此のつゝましき
町に

あたかき愛撫を來り與ふるものは誰ぞほろくさ乙女等の咽び泣
くけはひほざに

オレンジの花咲き満開の南亞米利加の森を通りて今宵此のつゝましき
町に

程もなく此のナルサンに肉色の圓き灯さもりて眞白き花のいづく
さの高き音楽堂につゞへる黒じみたる眼の男達はあたかも立つ谷

文藝欄擴張に就いて
あらゆる藝術の士は人の世
を長閑かにし、人の心を豊
かにするが故に尊い—草枕

最も簡明に文藝の真値をこう漱石は說
ばれど勝ちた同胞社會に於て兎も犬も

名づけられる可きものが出来れば
ならない否生み出さればならぬ

最近文藝欄開放の聲が高りつ
あるのは邦人社會一般要求

この方向に動きを見せたもの
であります。本紙はこう

した一般要求に對する爲に文
藝欄を開放し文藝爱好者の活
動舞臺に提供することにしよ
した

同好の士よ！奮つてこの欄内
に参加せられんことを希望しま
す(但し探否は文藝部一任の事)

英男は「今日は別に苦しい様な事もなかつた
かね……具合はどうだね」

英男は「エンシヤー、娘に置いて妻の
臥す前に心配氣な面持つたうすれた
まあ貴方カガルサが随分切れてゐるわね
ほんとうに済みません何日までも病氣
許りして……」

貴女枝は「云つて切れ下つた布を衰弱
り」と

さの花咲き満開の南亞米利加の森を通りて今宵此のつゝましき
町に

あたかき愛撫を來り與ふるものは誰ぞほろくさ乙女等の咽び泣
くけはひほざに

オレンジの花咲き満開の南亞米利加の森を通りて今宵此のつゝましき
町に

程もなく此のナルサンに肉色の圓き灯さもりて眞白き花のいづく
さの高き音楽堂につゞへる黒じみたる眼の男達はあたかも立つ谷

短篇民説賞集

一九三二年の擴張文藝欄を飾る植民

趣味の短篇小説を募集します

賞金 壱百ミル

一等五十鉢 二等三十鉢 三等二十鉢

締切 昭和七年二月卅一日限り

規 定

(一) 他の懸賞に應じ又出版した事なきもの

(二) 行一四字詰廿行の原稿用紙三十枚程度

(三) 住所氏名記載の上、但紙上署名は隨意

(四) 発表は四月十四日の本紙上に於いて

(五) 賞金は發表十日後本人に贈呈

(六) 懸賞原稿は切返戻せず

(七) 審査規定は本社文藝部同人

英男は手を延して要の額にあてがつて

